西東京市市民協働推進センター

平成 26 年度第 6 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 26 年 10 月 21 日(火)午後 7 時～8 時 50 分
■開催場所：イングビル 1 階　ゆめこらぼサロンコーナー
■出席委員：岸委員、久保委員、熊田委員、小嶋委員、紺野委員、坂口委員、田中（友）委員、田中（紀）委員、谷委員、富沢委員、中村委員、藤江委員＜以上 12 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、中村、栗山事務局長、丸木地域福祉課長、石井地域福祉推進係長、塚澤主事

1. 報　告　事　項

１．業務報告について

事務局より、９月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談状況について説明をしたが、特に質疑はなかった。

２．10 月以降の事業について

事務局より、10 月以降の実施事業である NPO 市民フェスティバル第 4 回実行委員会、NPO 市民フェスティバル事前説明会、協働を考えるシンポジウム、ゆめサロンについて説明があった。

委員長：協働を考えるシンポジウムへの行政職員の申込は他市が多いか。

事務局：西東京市 14 名、他市 11 名で前回とほぼ同じである。

2. 審　議　事　項

１．前回の会議録について

委　員：まちづくり円卓会議の前に一般市民が参加する意見交換会を実施するのか。

事務局：前回の運営委員会の協議を踏まえ実施しないことになった。

委員長：特に意見がないようなので、未定稿を確定稿とする。

3. 協　議　事　項

１．第三者評価について

事務局より、第三者評価の企画案について説明があった。

委員長：第三者評価をしているところはあまりないので意欲は評価したい。

委　員：アウトカムとは定量的な成果のことか、意識の問題のことか、はっきりしてほしい。

委　員：評価の視点を明確にしたほうが良い。評価軸を明確にすべき。

委員長：今まではアウトプットを数値目標で評価した。もう一つの評価基準として委員が指摘したバランススコアカードがあり、更に最近ではソーシャルインパクト、社会にどう影響を与えたかという基準がある。単に目標を数字で達成したかだけではないものを考えて欲しい。

委　員：ゆめこらぼの活動状況を把握しているだけではなく、評価方法に精通している人を評価委員に選定すると良い。

委　員：評価委員に決まっているのはどういう方なのか。

事務局：一人は社会福祉法人の事務局長をしていた。もう一人は前任のセンター長が依頼したが、詳細

は把握していない。

委員長：一人はチャイルドラインやプレーパークを世田谷ボランティア協会で立ち上げて、今はまちづくりのＮＰＯにかかわっているはず。もう一人は確認しておく。

委　員：新たに評価委員に推薦した一人は大学で社会福祉が専門の先生で他市のボランティアセンターの運営委員になっている方。

委　員：前回は他市の方が入っているが、半分は地元の方を入れたほうが良い。

委員長：候補者は現在連絡を取っているのか。

事務局：まだである。他の２名の方は退任されていたりするので、前回との継続性を考えて残っていただきたいと考えている。

委　員：ボランティアや福祉分野だけでなく、まちづくりや協働を分かっている方を入れた方が良い。

委　員：行政との関わりはどのようにするのか。

委員長：福祉事業における第三者評価とは性質が異なる。今回の場合、行政は評価を提出する先となる。

事務局：評価結果は発注仕様書には反映できないが、次年度計画の際に反映したい。

委員長：中間支援組織の人間は入れたほうがよい。できれば公設民営の所がよい。センターの利用者アンケートを市が実施しているので、その結果を反映するとか、地域性を勘案するために登録団体からアンケートをとるのはどうか。

事務局：市が行っているアンケートについては既に登録団体すべてにメールで協力依頼している。

２．今後のセンターのあり方について

今後のセンターのあり方について、事務局から平成 27 年度西東京市市民協働推進センター事業計画及び経費積算資料（案）について説明し概ね了承されたが、詳細は今後協議することとなった。

4. そ　の　他

１．次回運営委員会日程について

日時：平成 26 年 11 月 18 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル３階　第１、２会議室